



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月5日

上場会社名 佐藤商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8065 URL <http://www.satoshoji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永瀬哲郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 田浦義明 TEL 03-5218-5312
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	91,487	7.4	1,698	26.0	1,867	25.2	1,203	44.5
26年3月期第2四半期	85,203	6.3	1,347	△5.7	1,491	5.6	833	2.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,477百万円 (32.0%) 26年3月期第2四半期 1,876百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	55.40	55.33
26年3月期第2四半期	38.23	38.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	106,987	34,369	31.9
26年3月期	100,794	31,993	31.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 34,134百万円 26年3月期 31,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（平成26年11月5日）公表いたしました「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	179,000	0.4	3,050	2.3	3,400	1.5	2,100	△6.3	96.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	21,799,050株	26年3月期	21,799,050株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	74,130株	26年3月期	77,220株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	21,723,597株	26年3月期2Q	21,791,300株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	4
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、堅調な国内需要や企業の設備投資を背景に緩やかに回復しておりますが、アジア経済においては中国の景気減速、アジア新興国の経済鈍化など先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、主力の商用車業界が好調に推移したことなどにより、売上高は914億8千7百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は16億9千8百万円（前年同期比26.0%増）となりました。経常利益は18億6千7百万円（前年同期比25.2%増）となり、四半期純利益は12億3百万円（前年同期比44.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①鉄鋼事業

鉄鋼事業においては、主要取引業界である商用車業界が好調に推移したことにより、売上高は602億円（前年同期比6.7%増）、営業利益は11億8千7百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

②非鉄金属事業

非鉄金属事業においては、主要取引業界である商用車業界が好調に推移したことにより、売上高は146億1千3百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は1億5千8百万円（前年同期比60.8%増）となりました。

③電子材料事業

電子材料事業においては、主力の車載機器向けプリント配線基板用積層板の販売が堅調に推移し、売上高は89億円（前年同期比6.1%増）、営業利益は2億1千8百万円（前年同期比47.4%増）となりました。

④ライフ営業事業

ライフ営業事業においては、消費税増税前の駆け込み需要の反動がありましたが、自社輸入商品の拡販により、売上高は36億8千2百万円（前年同期比7.0%増）となりました。営業利益は円安の影響を受け9千7百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

⑤機械・工具事業

機械・工具事業においては、堅調に推移している国内やアジア新興国向けの設備投資を適宜受注したことなどにより、売上高は40億9千万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は3千6百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて61億9千2百万円増加し1,069億8千7百万円となりました。その要因の主なものは、流動資産において、受取手形及び売掛金が増加したこと等により44億6千1百万円増加したこと、また、固定資産において、投資有価証券が増加したこと等により17億3千1百万円増加したこととあります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて38億1千7百万円増加し726億1千7百万円となりました。その要因の主なものは、流動負債において、短期借入金が増加したこと等により21億5千9百万円増加したこと、固定負債において、繰延税金負債が増加したこと等により16億5千7百万円増加したこととあります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて23億7千5百万円増加し343億6千9百万円となりました。その要因の主なものは、利益剰余金が10億3千6百万円増加したこと、その他の包括利益累計額において、その他有価証券評価差額金が11億9千9百万円増加したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が18億6千7百万円となりましたが、売上債権の増加額37億2千6百万円、たな卸資産の増加額11億2千5百万円、減価償却費4億1千9百万円等により、33億5千6百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出2億2千万円等により、2億7千6百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増額26億4百万円等により、33億5千4百万円の収入となりました。

これらの結果から、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ2億7千2百万円減少し、16億8千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、我が国経済は引き続き堅調に推移すると予想されますが、中国、アジア新興国の経済成長減速、円安等によるコスト増などにより不透明な状況が推移すると予想されます。

上記のことから平成26年5月9日に公表した平成27年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、YUASA SATO(Thailand)Co.,Ltd. は重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が5千5百万円増加（投資その他の資産のその他に含めて表示）し、退職給付に係る負債が1億7千7百万円減少し、利益剰余金が1億6千4百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,385	3,123
受取手形及び売掛金	53,025	56,907
商品及び製品	16,131	17,331
繰延税金資産	510	422
その他	2,391	2,069
貸倒引当金	△87	△35
流動資産合計	75,357	79,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,452	4,369
土地	5,745	5,745
その他(純額)	1,244	1,153
有形固定資産合計	11,442	11,269
無形固定資産	125	120
投資その他の資産		
投資有価証券	12,717	14,565
その他	1,275	1,314
貸倒引当金	△125	△101
投資その他の資産合計	13,867	15,777
固定資産合計	25,436	27,168
資産合計	100,794	106,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,628	38,719
短期借入金	15,252	17,905
未払法人税等	716	590
賞与引当金	815	685
訴訟損失引当金	45	-
その他	2,890	2,607
流動負債合計	58,348	60,508
固定負債		
長期借入金	7,019	8,103
繰延税金負債	2,836	3,545
退職給付に係る負債	233	96
役員退職慰労引当金	34	38
その他	328	326
固定負債合計	10,452	12,109
負債合計	68,800	72,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	882	882
利益剰余金	25,247	26,284
自己株式	△52	△50
株主資本合計	27,399	28,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,251	5,451
繰延ヘッジ損益	2	6
為替換算調整勘定	128	229
退職給付に係る調整累計額	18	10
その他の包括利益累計額合計	4,401	5,697
新株予約権	63	104
少数株主持分	129	130
純資産合計	31,993	34,369
負債純資産合計	100,794	106,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	85,203	91,487
売上原価	78,934	84,805
売上総利益	6,269	6,681
販売費及び一般管理費	4,921	4,983
営業利益	1,347	1,698
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	128	154
受取賃貸料	61	58
仕入割引	56	62
持分法による投資利益	46	5
その他	39	57
営業外収益合計	335	343
営業外費用		
支払利息	103	104
手形売却損	2	0
売上債権売却損	28	22
賃貸費用	36	28
その他	21	18
営業外費用合計	191	174
経常利益	1,491	1,867
特別利益		
固定資産売却益	76	0
投資有価証券売却益	-	0
補助金収入	66	-
特別利益合計	143	0
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
投資有価証券評価損	1	-
子会社株式評価損	61	-
会員権評価損	0	-
減損損失	8	-
訴訟損失引当金繰入額	239	-
特別損失合計	316	0
税金等調整前四半期純利益	1,318	1,867
法人税、住民税及び事業税	512	596
法人税等調整額	△29	67
法人税等合計	483	663
少数株主損益調整前四半期純利益	835	1,203
少数株主利益	2	0
四半期純利益	833	1,203

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	835	1,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,002	1,198
繰延ヘッジ損益	△2	4
為替換算調整勘定	39	71
退職給付に係る調整額	-	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	0	12
その他の包括利益合計	1,041	1,273
四半期包括利益	1,876	2,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,874	2,476
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,318	1,867
減価償却費	500	419
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△941	△75
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	7
受取利息及び受取配当金	△131	△159
支払利息	103	104
持分法による投資損益 (△は益)	△46	△5
固定資産除売却損益 (△は益)	△71	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	-
子会社株式評価損	61	-
補助金収入	△66	-
売上債権の増減額 (△は増加)	532	△3,726
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△183	△1,125
仕入債務の増減額 (△は減少)	△578	△8
その他	48	46
小計	547	△2,651
利息及び配当金の受取額	137	169
利息の支払額	△104	△103
訴訟和解金の支払額	-	△45
法人税等の支払額	△178	△725
営業活動によるキャッシュ・フロー	401	△3,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△303	△220
有形固定資産の売却による収入	326	0
無形固定資産の取得による支出	△41	△18
投資有価証券の取得による支出	△487	△17
貸付けによる支出	△117	△69
その他	△12	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△636	△276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△509	2,604
長期借入れによる収入	1,296	1,900
長期借入金の返済による支出	△794	△875
社債の償還による支出	△100	-
配当金の支払額	△216	△272
その他	△4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329	3,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△548	△272
現金及び現金同等物の期首残高	2,105	1,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,557	1,680

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鉄鋼事業	非鉄金属事業	電子材料事業	ライフ営業事業	機械・工具事業	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高						
外部顧客への売上高	56,443	13,559	8,392	3,440	3,367	85,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	56,443	13,559	8,392	3,440	3,367	85,203
セグメント利益 又は損失(△)	1,007	98	148	99	△6	1,347

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鉄鋼事業	非鉄金属事業	電子材料事業	ライフ営業事業	機械・工具事業	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高						
外部顧客への売上高	60,200	14,613	8,900	3,682	4,090	91,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	60,200	14,613	8,900	3,682	4,090	91,487
セグメント利益	1,187	158	218	97	36	1,698

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。